



外傷歯の時間経過と不快事項

1. 外傷時の時間経過と不快事項の関係

受傷後

時間経過

- 1日後;受傷当日に隠れていた脱臼歯が揺れ痛む
- 1週間後;軟組織治癒→感染部の明瞭化
- 2週間後;脱臼の治癒→歯茎に膿の腫れが出来る
- 3週間後;歯周組織の治癒→ポケットの正常化
- 1ヶ月後~;歯根吸収が観察され始める
- 1ヶ月~2ヶ月後; 脱臼歯 歯髄の生死が明瞭になる→根尖性歯周炎
- ~1年後; 歯根破折の治癒、ほとんどの不良所見は観察が可能になる
- ~5年; 断髓の不良所見が出尽くす
- ~10年; 進行性の歯根吸収が起こりえる

数年後に生じる
影響もある

2. 萌えて間もない永久歯における歯周組織損傷と合併症発現率

| 合併症 歯の損傷 | 歯髓壞死 | 歯髓狭窄 | 歯根外部吸収 |
|-------------|-------------------|------|--------|
| 歯冠亀裂 | 3.5 | | |
| ・エナメル質破折 | 1 | 0.5 | 0.2 |
| ・象牙質破折 | 修復後 3~25 放置 54 | 0.5 | 0.2 |
| 水平歯根破折 | 10 | 75 | 2 |

※外傷歯学会データより

歯の表面の亀裂 …… 見た目以上に結構「悪さ」をする

- ①しみる
- ②破折の隙間から細菌が侵入し神経が死ぬ

| 合併症 損傷 | 歯髓壞死 | 歯髓狭窄 | 炎症性歯根 吸収 | 骨性癒着 | 辺縁性骨吸 収 |
|-----------|------|------|-------------|------|------------|
| 震盪 | | 3 | | | |
| 亞脱臼 | | 11 | 0.5 | | |
| 挺出 | 7 | 60 | 6 | | 6 |
| 転位 | 10 | 71 | 3 | | 7 |
| 陷入 | 63 | 25 | 38 | 13 | 31 |
| 脱落再植 | 66 | 34 | 37 | 43 | 7 |

※外傷歯学会データより

※1 骨性癒着;陷入、脱落再植の際にのみ骨性癒着が生じる

※2 歯髓狭窄;転位、挺出に多い

※3 複数回の外傷;歯髓壞死に注意する

3. 外傷した歯の経過観察の重要性

外傷した歯は数ヶ月～数年の時を経て上記のような悪影響が生じることがあります。

➡ **外傷を受けた歯は長期的に観察していく注意が必要になります**

詳しくは当院へご相談ください



ふたぎ歯科医院

